



# 法政大学経済学部 同窓会報



第93号 2025年(令和7年)1月1日  
法政大学経済学部同窓会(略称 法政経友会)

発行人: 村田紀敏(同窓会会長) / 編集人: 執行部編集委員会  
〒194-0298 東京都町田市相原町4342 法政大学経済学部研究棟4階420号室  
電話・FAX 042-783-2550 <http://www.hoseikeiyukai.jp/>  
郵便振替口座001706-602070 三菱UFJ銀行橋本支店普通口座0166670  
\*事務所の開室日時は、火曜日と金曜日の9:30~15:30です

本会は、会員相互の親睦をはかり、経済学部および母校の発展ならびに社会・文教の進歩に寄与することを目的とする。(同窓会会則第3条)

## 経済学部同窓会忘年の集いを 霧見ゼミミOB会との共同で開催

経済学部同窓会2024年忘年の集いが、12月7日(土)、穏やかな晴天の下に行われました。

今回は、経済学部同窓会と霧見ゼミミOB会の共同開催となり、第一部として、霧見ゼミ発足50周年記念の霧見誠良名誉教授講演会が、市ヶ谷キャンパスポアソナードタワーの25階B会議室にて、午前10時から催されました。

霧見ゼミミOB会である、つるみ会を代表して中村達也さんの挨拶、村田同窓会長の挨拶に続き、霧見先生は「デジタル化と金融システム」というテーマで講演されました。

霧見先生は現在、日本の金融史の研究に取り組まれているそうですが、今回は、皆さんが関心をお持ちのようだと、デジタル化によって急速に変化する、金融システムの課題についてお話しくださいました。

デジタル化が進んだ現在では、「情報」の価値が高くなり、金融においても金融取引における情報取得が重要な位置を占め、従来の預金銀行システムの盛衰がキーワードになって

いるとのことでした。そして、金融システム自体は、分散の動きと新たな集中の動きとがあり、どう収斂するか見通せないほど、変革の時期に差しかかっているとのことでした。

講演会には、約40名が参加し、会場はほぼ満席の状態でした。

講演終了後には質疑応答があり、分散化の際の管理問題や、デジタル化によって銀行券はどうなるかなど、熱心な質問が寄せられました。

講演会終了後は、懇親会会場である新橋「新橋亭」へ移動。新橋亭は、昭和21年に新橋で創業した北京料理のお店で、総調理長の田中喬氏は旭日双光章も授与されています。

第二部となる懇親会は、ここ新橋亭3階フロアの円卓6つを使って、午後12時30分から催されました。

最初に霧見先生から挨拶があり、その後、加藤会

長代行の乾杯の音頭で開宴となりました。参加された会員の石山秀雄さんからは、来年の干支であるへびをあしらった、かわいい根付のプレゼントが全員に手渡されるといふサプライズもあり、それぞれの円卓では、ひさしぶりの再会に会話に花が咲いていました。

最後は、全員が立ち上がったの校歌斉唱、続く花澤幹事長の挨拶でお開きとなりました。



新橋亭の会場で挨拶される霧見先生



ポアソナードタワーで行われた霧見誠良名誉教授講演会の様子



最後はやはり全員での校歌斉唱



石山秀雄さんからはへびの根付が全員にプレゼント

## 2025新年のご挨拶



法政大学経済学部長

竹口圭輔

謹んで新春をお祝い申し上げます。同窓会の皆様におかれましては、新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は経済学部の市ヶ谷移転も決定し、新たな展開をすべく、移転後を見据え様々な検討を始めた一年でした。中長期的視野を持ちつつも、今の学生を支援すべく、引き続き魅力ある教育を提供してまいります。

本年も皆様のご期待に応えるべく、より一層精進いたしますので、変わらぬご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。新しい年が、皆様にとつて幸多き年であるよう祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

2025年元旦



一般社団法人法政大学校友会会長

竹中宣雄

新年おめでとうございます。

経済学部同窓会における、校友会として学部同窓会の牽引役としてのご活躍に敬意を表します。また、教職員の皆様には、日本の未来を支える教育・研究活動へ感謝申し上げます。

校友会は、正会員数七万七千人を超えるネットワークへ成長いたしました。今後も、校友の皆様の交流や福祉向上へ貢献すると共に、特に若い世代や現役学生、大学への支援に力を入れる所存です。今後も母校・法政大学に寄与し続ける存在として、共に発展して参りましょう。

新年が皆様にとつて幸多い年となることを祈念申し上げます。

2025年元旦



法政大学経済学部同窓会長

村田紀敏

明けましておめでとうございませす。皆様におかれましては、新たな気持ちで新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

さて、世界情勢を俯瞰しますと、多くの難題をかかえ、新年を迎えました。このようなとき、上に立つ者は将来を見据え知恵の発揮が求められます。しかしながら、自己中心的考えによつて分断が起き、問題を複雑化させ、解決が遠退いています。

国際関係が重要な時代に、法政大学では新総長に、グローバル教養学部のコー・ダイアナ教授が選出されました。学生にとつて大きな刺激となり、新たな法政ブランドが構築され、一層高まること期待されます。

経友会も、新総長を応援していきたいと思ひます。

2025年元旦

## インターンシップ

## 実習報告会を聴講

経済学部同窓会では、毎年経済学部の学生を対象とした、サマータンインターンシップ受入企業の紹介をお願いしております。今年度も、受入れについてご賛同いただいた企業について、大学を通じて学生に紹介した結果、文化シャッター株式会社、上川郡東川町役場、コマニー株式会社及び株式会社スリーエスの合計4社・団体に、計12名の学生が派遣され、10～11月にかけて実習報告会が行われました。

同窓会を代表して、私、高森が株式会社コマニーの実習報告会を聴講し、学生からの報告及びそれに基づいた質疑応答等、学生の関心の高さを実感した次第です。

会員各位におかれましては、皆様とご関係のある企業・団体を引き続きご紹介たまわりますようお願い申し上げます。これまで実績のある企業や団体に対しましては、事務局より改めてお願いをさせていただきますが、ご紹介いただければ幸いです。事務局までご連絡をお願いします。

事務局長 高森 正雄



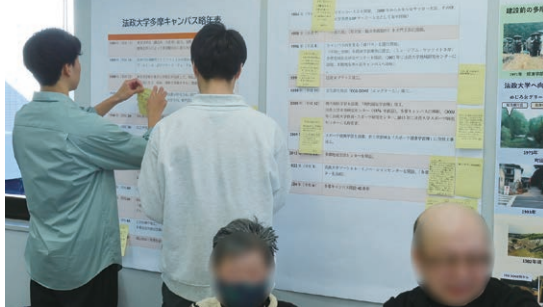
# HOSEIミュージアム・サテライト多摩をつくる ワークショップに経済学部同窓会も参加

法政大学の多様な研究・資源を結び付け、発信する目的で、市ヶ谷キャンパスの九段北校舎に拠点が設立されたHOSEIミュージアムは、多摩キャンパスに「HOSEIミュージアム・サテライト多摩」を設置することにになりました。

具体的には、多摩キャンパスの記憶の収集・アーカイブ化”として、多摩キャンパスと近隣地域に関するストーリーを、大学・近隣の関係者から収集し、キャンパス・近隣の史跡・モニュメントや貴重資料収蔵先に、共通サイン(標識)を設置して

案内するとともに、サインをつないで巡ることが出来るトレイルの設定なども検討されています。その中には、経済学部同窓会が建立し、大学に寄贈した「平和祈念碑」も含まれています。

この、HOSEIミュージアム・サテライト多摩をつくるワークショップが、12月15日(日)12時30分から約2時間、多摩キャンパスの現代福祉学部棟3階の心理学実験室において、オンラインを含め約30人が参加して行われ、経済学部同窓会からは、加藤会長代行をはじめ、5人が参加



参加者は意見を書いた付箋をマップと年表に貼り付けていく



最後に挨拶を行う広瀬総長



貼り付けた付箋を基に解説する加藤会長代行

しました。

金井敦HOSEIミュージアム館長(副学長)の挨拶や説明などの後、参加者は意見を付箋に書き出して、教室壁面にあるキャンパスマップと年表に貼り付けます。その後、貼り出された付箋に沿い、意見を述べていきました。

経済学部同窓会会員からは、平和

## 立命館大学国際平和ミュージアム見学とインタビューのご報告

会長代行 加藤 毅

平和祈念碑の意義をどう語り継ぐかが課題となっていますが、国際文化学部の高柳俊男教授、HOSEIミュージアムの北口由望准教授の助言を受け、立命館大学国際平和ミュージアムを訪問しました。

ここでは、約1200㎡もの常設展示スペースに、主に19世紀から21世紀の現在に至る、平和に関する問題が提起され、学外からの見学者も多く訪れています。見学後は、立命館史資料センターオフィスの奈良英久担当課長にお話を伺いました。

立命館は、戦後に平和と民主主義という建付けを前面に出し、学生組織、教職員組合、生協などが一体となって、平和ミュージアム設立を提起したそう

祈念碑や法政大学大原社会問題研究所に関する意見が多く出され、最後に行われた広瀬克哉総長の挨拶でも、平和祈念碑の物理的価値を超えた継承の重要性についてのコメントがありました。

これを機に、平和祈念碑建立の熱い思いと意義が、法政大学内外に広く継承されればと思います。

です。現在は、自校史教育の中に国際平和ミュージアムの見学を取入れているとのことでした。

やはり、全学的な取組みの必要性を深く感じるとともに、今回、HOSEIミュージアム・サテライト多摩構想の中に平和祈念碑も入るとのこと

で、平和祈念碑の意義を語り継ぐ活動が、全学的に広がればという思いを強くしました。



インタビューに応じてくださる奈良担当課長(写真右)



# プレゼンテーション大会決勝戦が昨年同様 日本語、英語の2部門で行われる

12月14日（土）、法政大学多摩キャンパスにおいて、午後2時30分からプレゼンテーション大会の決勝戦が行われました。昨年から日本語部門と英語部門での発表形式になり、今回も同様に、それぞれの決勝戦は、午前中の予選を勝ち抜いた、日本語部門6チーム、英語部門4チームで、それぞれ行われました。

今回は、大教室B棟B301教室での日本語部門、経済学部C棟101教室での英語部門の決勝戦それぞれに、審査員を出してほしいとの要請を受け、それぞれに2名ずつ審査員を派遣しました。

決勝戦終了後は、懇親会が行われる総合棟の食堂に会場を移し、審査



大教室B棟B301教室で行われた日本語部門決勝戦の様子



経済学部C棟101教室での英語部門決勝戦の様子



日本語部門で優勝した馬場ゼミ 観光班

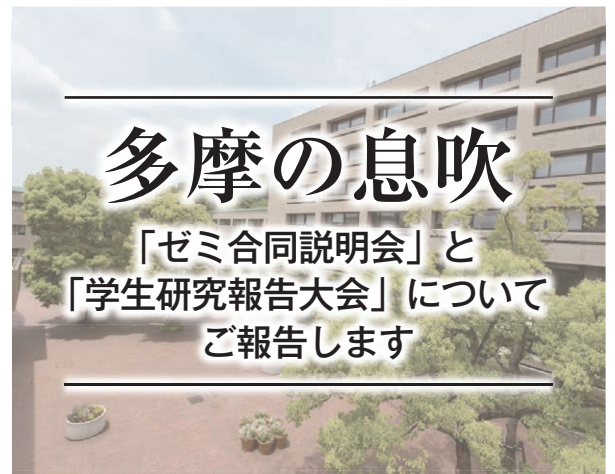


英語部門で優勝したタナカゼミ Aチーム

結果の発表が行われ、日本語部門の優勝は、「コンテンツツーツーリズムの現状分析と可能性〜志摩スベイン村と湯涌温泉の事例比較から〜」をテーマとした馬場ゼミ 観光班、英語部門の優勝は、「LGBTQ+ Education In Schools」をテーマとしたタナカゼミ Aチームになりました。

審査結果発表の後、表彰式が行われ、同窓会からは、決勝戦に参加した日本語部門6チーム、英語部門の4チームすべてに賞金が贈られました。

表彰式の後には、立食形式の懇親会が開催され、プレゼンテーション大会の緊張感から解放された学生たちは、和やかに歓談を楽しみました。



私は、学生会会長の岩間乃々花です。ここでは、学生会が主催した多くのイベントの中から、「ゼミ合同説明会」と「学生研究報告大会」を選んで、ご報告します。

ゼミ合同説明会は、例年多くのゼミが参加しており、特に1年生にとっては、ゼミ選びの大切な場となっています。今年も大規模なイベントとなり、準備には、学生会主任の酒井正教授や経済学部事務課のご協力が不可欠でした。多くの方々にご支援いただいたおかげで、無事に開催することができました。ゼミ合同説明会の後には、各ゼミが開催する「ゼミ相談会」も行われ、1年生が積極的に話を聞きに行く姿が見られました。

た。1年生の皆さんがこのイベントを通じて、少しでもゼミ選びへの意欲を高めてくれたことが、私たちにとって何よりの喜びです。

次に、学生研究報告大会についてご報告します。各ゼミがさまざまなテーマに基づいた研究を発表し、どの発表も非常に興味深いものでした。大学生活で大切な活動の一つである研究披露の場が提供できたことを、心から嬉しく思っています。発表後、教授の方々から直接アドバイスをいただける機会もあり、学生の新たな学びと今後の研究の発展に繋がる、貴重な場となったと感じました。

現在、学生会では「プレゼン大会」という最後の大きなイベントに向けて、準備を進めています。任期末まで取り組んでまいりますので、引き続き温かく見守っていただけますと幸いです。



岩間乃々花  
経済学科3年  
宮崎 憲治ゼミ





全国の会員から事務局に寄せられたお便りを紹介します  
( )は西暦年です

## 北海道から

川南 卓也(17年卒)

岩見沢市 47歳

明けましておめでとございます。今年もよろしく願っています。

同窓会報84号の会員短信で通教法学部への入学をお伝えしましたが、現在も在学中です。昨年の夏期スクーリングは所謂オンライン(Zoom)形式を初受講しました。新型コロナ感染症対策で定着しましたが、東京の法政大学へ直接行かずに自室のパソコンを駆使して単位が習得できるため、北海道⇄東京の移動費と1週間の滞在費が一切発生しないのが大きなメリットです。

また、前号の会員短信にてネット出願について触れましたが、出願に限らず、経友会への支援活動(寄附)につきましても、振込用紙の準備や記入が不要で郵便局など金融機関へ出向く事なく、自室のパソコンまたはスマートフォン(別途、トークンと呼ばれるワンタイムパスワード生成機器や認証アプリの登録等が必要です)からいつでも送金が行えるので、たいへん便利です。

## 千葉から

角田 勇(64年卒)

流山市 83歳

千葉県立東葛飾高校出身の孫とその友人。友人は法政大学理工学部に入學しています。この前身は工学部でした。私の兄はこの工学部出身で4年生の時は応援団の副団長でした。卒業し入社した会社がリッカーマシン。陸上では前回のオリンピックでは10名の選手が出場。野球も強く亡き兄はリッカーの応援団長でした。懐かしい。

## 埼玉から

川上 良一(92年卒)

越谷市 65歳

昨年の大相撲は、若い力士が

躍進しました。法政大学学位授与式の日千秋落(ママ)を迎えた春場所、日本大学出身の尊富士が、大正3年の兩國以来110年ぶりに、新入幕優勝を果たしたかと思えば、続く5月の夏場所には、日本体育大学出身の里が、初土俵からの最短優勝記録を立てました。写真は両場所の間、4月15日の靖國神社奉納大相撲です。法政大学大内山校舎を背景に、右の若元春を押し出す後ろ姿の阿炎は、越谷市の郷土力士です。

話は変わりますが、言語は論理の対立構造ではなく、基本構造です。論理は言語によって構築されます。語法に厳格でない厳格な論理、というものは、オクスイモロンでしょうか。日高先生が共著の一員として経済学分野を担当した『短文・小論文の書き方』(有斐閣新書、昭和53年)があります。ここで先生は、「用語は、その概念規定を十分考えながら用いてほしい」と、読者を論じています。

「概念規定」は、「語法」の概念に包摂されるので、論理的に考えますと、先生は「語法」に言及していることになりました。片言折獄、先生が使用した語彙に拘泥するのは、教条主義的な印象を受けます。通信教育の過程で学んだ私にとっ

て、卒論面接が先生との一期一会でした。『100周年記念誌』に述べた通り、私の『価値形態論』は高く評価されたため、先生から論理の面でツッコミを入れていただく機会はありませんでした。チョコちゃんふうに表示すると、私は「つまんねえヤツ」だったわけです。それでも、先生が表情を輝かせる場面がありました。宇野学派は、価値形態論の名で交換過程論を説いたのだという、佐藤金三郎氏の説を私が語ったときです。まさに概念規定です。人物評は、一般化し得る性質のものではありません。



東京から

佐藤 博(玄祥)(55年卒)

中野区 94歳

学制も全部旧制で卒業、薬剤師で法政大学経済学部商業学科3年(夜間)に編入、働きながら勉学に励む。昭和6年1月生れの巡り合わせが幸いし、薬剤師(星葉専)・商(葉)学士法政大(二部)を取得。その後の活動に最大のプラスの資格であった。法政時代の同級生は2年間の交流であったが、皆働きながらの夜学生で真面目な学生仲間であった。皆名代である。中々会えないのが淋しい。

胡口 靖夫(69年卒)

渋谷区 83歳

本誌第91号の「秋田から」に書かれた小松孝二氏の文章を興味深く拝読させていただきました。「近年は母校が」学業もスポーツも不振の状況と見られます」と指摘されたことは同感です。それにも増して意を強くしたのは「加えて教員等のメディアでの活躍も以前より少ない傾向にあると感じられます」です。

往時は、文学部には小田切秀雄教授、経済学部には日高普教授・藤田省三教授、社会学部には北川隆吉教

授・芝田進午教授など錚々たる論客が「論壇」などのメディアで活躍していました。

中でも我が師日高教授は、『毎日新聞』の書評委員を40歳から75歳まで35年間勤め、一度は辞めたいと申し出ましたが、慰留されたという。国内紙では最長記録だと思います。

しかるに現今では、「論壇」はさることながら、一般の新聞記事の中にも寄稿者あるいは当該記事にコメントを求められる有識者の中に母校の教員をみることが、管見の限りほとんど見当たりません。全15学部ある総合大学として誠に嘆かわしき限りです。逆説的ですが、これでよく志願者が9万人も集まるものだと感じます。

「追記」本稿脱稿後、『朝日新聞』2024年7月20日付の「読書」面で「時空と空想の広がりを書評委員19人の『夏に読みたい3点』」の記事内で、本学経済学部教授・酒井正氏が健筆をふるわれているのを拝見し、少し溜飲が下がりました。また同紙同年7月27日付の「読書」面の「著者に会いたい」シリーズに、本学法学部教授・杉田敦氏が登場したことも紹介しておきたい。わが法政はこうでなくては!!


神奈川から

古谷 公利(60年卒)

平塚市 86歳

60歳代から音楽を習い始め創作(作詞、他)を試みました。手前味噌でお恥ずかしい限りです。興味のある方はハミングしてみてください。


湘南のふるさと 2024年11月1日 作詞:古谷公利 作曲:藤 静子



湘南のふるさと 作詞・古谷公利 演奏 藤 静子

1 湘南のふるさと馬入川(はにゅう)の西か 霊峰富士を真向いに仰ぎ 豊かに憩れる至福の大地よ さらめく大河の恵みを受けん

2 晴朗の海原は白砂と松林 農漁の幸は平塚(まち)を潤す 河風潮風仁知を育(はぐく)み 世界の大海へはばたけ高く



「桜を観る会」

小旅行のお知らせ

経友会の日帰り小旅行を兼ねた、桜を観る会を予定しています。

場所は、千葉県のキャラクタ、チーバくんの首の部分にあたる、千葉市にある昭和の森です。600本の桜が、園内のお花見広場で皆様をお待ちしています。併せて、昭和の森に隣接する写真画専門のホキ美術館で、作品群を堪能したいと思えます。昼食は館内のレストラン「はなう」を予定。

開催日: 2025年3月29日(土)

集合場所・時間: JR外房線土気駅改札を出たところに10時15分

参加費: 7,000円程度を予定

\*美術館入場割引申請のため、満65歳以上の方は年齢証明をご用意ください。

締切: 2025年2月28日(金)

申込先: 経済学部同窓会事務局

下浦・進藤

電話・FAX

042-783-2550

(電話での対応は、火・金曜日の9:30~15:30です)





# 2025年 謹賀新年

## 法政大学経済学部同窓会

会長 村田 紀敏

昭和41年経済学部卒

## 法政大学経済学部同窓会

会長代行 加藤 毅

〒175-0082 東京都板橋区高島平五-1-31-112  
電話 〇三(三九三〇)八六六五

一九六〇年経済学部経済学科卒(上杉ゼミ)

メガソーラーコンサルタント  
愛花創業(株)代表取締役  
法政大学経済学部同窓会

幹事長 花澤 良三  
総務部長

〒290-0141 千葉県市原市ちはら台東2-1-11-13  
電話 〇四三六(三六)二一六〇

昭和46年経済学部経済学科卒

## 法政大学経済学部同窓会

事務局長 高森 正雄

〒191-0002 東京都日野市新町1-18-1-19

昭和45年経済学部経済学科卒(渡邊佐平ゼミ)

## 法政大学経済学部 教授会執行部一同

経済学部長 竹口 圭輔

教授会主任 武田 浩一

教授会主任 芝田 幸一郎

教授会副主任 酒井 正

村串仁三郎法政大学名誉教授 著

## 「現代日本の国立公園制度の研究」

——国立公園は自然保護の砦か——

(時潮社、六〇〇〇円)

著者は一九六九年法政大学大学院(博)単位取得  
博士(経済学)  
経済学部同窓会副会長・HP副部長

## 法政大学経済学部同窓会

副会長 小倉 尚  
広報部長

〒145-0065 東京都大田区東雪谷3-1-16-18  
電話 〇八〇(五八七八)七二二一

一九六五年経済学部卒(高橋誠ゼミ)

## 法政大学経済学部同窓会

副会長 菅野 里見

〒192-0913 東京都八王子市北野台3-146-1-1  
電話・FAX 〇四二(六三七)二五三五

昭和42年経済学部卒

## 法政大学経済学部同窓会

副会長 佐々木 範光

〒359-0007 埼玉県所沢市北岩岡1-1-17  
電話 〇四(二九四二)七八〇六

昭和42年経済学部卒

経済学部同窓会副会長  
文化シャッター株式会社

代表取締役 潮崎 敏彦  
会長

昭和45年経済学部卒

## 法政大学経済学部同窓会

副会長 森 昭七

〒173-0022 東京都板橋区仲町一八-1-5  
電話 〇九〇(四〇五二)七九七四

昭和32年経済学部卒

平塚市旭北地区体育振興会顧問  
法政湘南トポリンコール主宰  
法政大学経済学部同窓会

副会長 古谷 公利

〒254-0902 神奈川県平塚市徳延四三二-12  
電話 〇四六三(三三二)〇四四七

昭和35年経済学部経済学科卒

## コマニー株式会社

会長 塚本 幹雄

〒168-0065 杉並区浜田山四-1-6-1-4  
セントマークス浜田山二-1-6

昭和48年経済学部経済学科卒

# 申し上げます

会報では広告を募集しています。あいさつ広告と企業広告があります。お申込みは事務局へ。広告の掲載料金は同窓会活動に大いに役立っております。幅広い会員各位のご協力をお願いいたします。

<p>有限会社 エスケイ(江川南納税貯蓄組合連合会長) NPO法人 日本間質性肺炎患者情報交換センター理事長</p> <p><b>関 善明</b></p> <p>〒134-0085 東京都江戸川区南葛西 六―十五―十四―五〇一 電話 〇三(五六九六)三五五三 昭和38年経済学部卒(山本ゼミ)</p>	<p><b>法政大学経済学部同窓会</b></p> <p>財政部会長 <b>会 田 久仁夫</b></p> <p>昭和42年経済学部卒</p>	<p>株式会社 榎本興産代表取締役 法政大学経済学部同窓会</p> <p>財政部会長 <b>榎 本 勝 治</b></p> <p>〒180-0014 東京都武蔵野市関前三―四―十一 電話 〇四二二(五二七)七一七二 昭和40年経済学部卒</p>	<p>司法書士法人リーガルエスコート 行政書士法人リーガルエスコート</p> <p>司法書士・行政書士 <b>金 久 保 健</b></p> <p>(1988年卒業) 新宿区西新宿六丁目二番四号(6F) 電話 〇三(六二五八)〇六三四</p>	<p><b>法政大学経済学部同窓会</b> 三和建築株式会社</p> <p>会長 <b>元 角 昌 三</b></p> <p>〒188-0005 東京都武蔵野市御殿山二―二〇―五 電話 〇八〇(二〇〇六)八七八七 昭和45年経済学部卒</p>
<p><b>高橋建設興業株式会社</b></p> <p>取締役会長 <b>高 橋 久 之</b></p> <p>〒212-0004 神奈川県川崎市幸区小向西町四―六五 電話 〇四四(五一)〇五五七 FAX 〇四四(五五五)一二八七 昭和35年経商卒</p>	<p>NPO法人海外留学生安全対策協議会JCSOS</p> <p>理事長 <b>池 野 健 一</b></p> <p>〒150-0002 東京都渋谷区渋谷二―十二―十五 日本薬学会 長井記念館ビル一階 電話・FAX 〇三(六四一八)〇七二七・〇七二六 E-mail:kikeno@jcos.org 一九七二年経済学部卒</p>	<p>法友体育会顧問 法友ハンドボールクラブ名誉会長</p> <p><b>川 崎 保 之</b></p> <p>〒183-0035 東京都府中市四谷三―六四―二四 電話 〇九〇(二六四八)六三〇一 昭和38年経済学部経済学科卒</p>	<p>経済学部二部会計学研究会OB会</p> <p>公認会計士 税理士 <b>桑 原 正 信</b></p> <p>〒306-0016 茨城県古河市古河五四四―一四七 昭和43年経済学部商業学科卒</p>	<p><b>渡邊佐平ゼミ同窓会幹事</b></p> <p><b>池 田 亘</b></p> <p>〒272-0023 千葉県市川市南八幡三―七―三 1972年経済学部卒</p>



## 一般社団法人 法政大学校友会

### 終身会員募集中！(終身会費 30,000 円)

- |     |       |     |      |       |        |       |       |     |       |       |       |       |       |
|-----|-------|-----|------|-------|--------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 会 長 | 竹中 宣雄 | 副会長 | 田崎 稔 | 大森 廣行 | 中村 寿美子 | 岡本 眞司 | 田中 利幸 | 監 事 | 発地 敏彦 | 発塚 昇一 | 高須 順一 | 田中 修司 | 坂本 考史 |
|-----|-------|-----|------|-------|--------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|

事務局 〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-3 九段校舎 4 階  
TEL 03-3264-1831 FAX 03-3264-4770  
E-mail: jimukyoku@hoseinet.or.jp

公認会計士法友会

会 長 **太 田 莊 一**

〒169-0074 東京都新宿区北新宿四―一九―一五  
(正和ハイツ)  
電話 〇八〇(七〇〇九)二六九一  
飯塚昇  
昭和52年経済学部卒





# 本年もよろしくお願ひ

法政大学校友会  
落語研究会OB会

道城猛史

〒208-0013 東京都武蔵村山市大南一―一五三―七  
電話・FAX ○四二(五六二)八〇六七  
昭和38年経済学部経済学科卒

株式会社加賀ライズ

―ITソフトウエア開発35年

代表取締役

高根典文

〒101-0021 東京都千代田区外神田六―十五―十一  
日東ビル  
江東法友会名誉会長  
一九六七卒(上杉 捨彦セミ)

株式会社

アウイン

代表取締役

田島榮二郎

横浜市戸塚区戸塚町二〇番地  
電話(〇四五)八六一―五七四二(代表)  
昭和37年経済学部卒

二度栗山興業株式会社

取締役会長  
宮内良雄

昭和26年経済卒

法政大学経済学部同窓会

監査役  
田口雅美

〒267-0057 千葉県千葉市緑区大木戸町九三―六九  
電話 ○四三(二九四)五〇八八  
1971年経済学部卒

法政大学経済学部同窓会

監査役  
原木正司

〒24-0024 神奈川県横浜市都筑区東山田町一三〇四  
昭和46年経済学部卒

法政大学経済学部同窓会顧問  
法政大学東京校友会渋谷支部顧問

恵良郁文

〒151-0071 東京都渋谷区本町四―四八―五  
電話 ○三(三三七五)二二二二  
昭和42年経済学部経済学科卒

法政大学経済学部同窓会

顧問  
上城功

〒192-0362 東京都八王子市松木五五―八  
電話・FAX ○四二(六七〇)〇六九六  
昭和33年経済学部卒

南宗谷カントリー倶楽部

顧問  
深井信朗

〒098-5204 北海道枝幸郡枝幸町歌登南町三八〇―四  
電話 ○一六三(六八)二八三六  
昭和36年経済学部商業学科卒

法政大学経済学部同窓会

顧問  
山川次郎

〒233-0016 千葉県千葉市美浜区幕張西  
三―一六―七―一〇六  
電話 ○四三(二七二)四五三六  
昭和33年経済学部卒

文京法友会

相談役  
高橋将昭

昭和34年経済学部卒

**ご長寿** おめでとうございます

長寿会員は、同窓会費を直近で連続3年以上納入され、今年は1966年卒業の会員、通教卒業生の場合は実年齢で80歳になられた会員の方々です(敬称略)

荒川孝洋 市川宏郎 一ノ関史郎 宇戸勝男 岡本三男 菊池洋三 草間治三 倉澤福学 小堀雄哉 酒井邦夫 桜井勝郎 佐々木雅弘 白石英夫 関口孝夫 高橋真実 長野隆一 中村正猛 土師嘉之 島山明成

花村征一郎 早川一男 原国隆 干川輝夫 細野サチ子 堀浦岑雄 松浦誠祐 宮岡信夫 三好由美 村田紀敏 吉原英夫



高坂志片北西村榎卯千山椎  
森本田倉田岡木本野葉水名

正保 昭義正 勝修三克鐵  
雄雄涉雄徳道茂治三郎美雄

10 3 10 5 0 1 0 1 5 3 3 5 10 5  
口口口口口口口口口口口口口口

706288627670696581716760  
(は西暦卒年 敬称略)

【学生支援金寄付】  
2024年8月〜12月10日

角鈴萱浦川徳高会  
田木野野南田森田

惠健五卓訓正久  
勇子次左衛門也康雄夫

2 10 10 7 1 2 10 10  
口口口口口口口口口口

6412606117627067  
(は西暦卒年 敬称略)

【一般活動支援金寄付】  
2024年8月〜

寄付にご協力いただき  
ありがとうございました

鈴鈴鈴  
木木木

裕修啓  
二夢史

740824  
(は西暦卒年)

【新入会員】  
2024年9月〜

敬称略

古渡安川原安平南高塚稲桑小古茂八高中伊鈴島長津小小飯田宮後広元東谷馬佐加森深菅中  
富邊原井 藤山澤野本葉原長田木木山原藤木野川金倉宮田村岡藤川原 内鳥竹藤 井井村

久瑞宏重孝敬精和 幹勝正啓征雅 広一春啓和彰富 孝道暢義英吉俊利利明 昭信弘隆  
義江昌義吉久一夫稔雄夫信太治延孝之六雄二明人一尚道嗣浩秀樹朗明郎行成敬毅七朗明輔

3 10 2 5 3 3 2 10 2 20 3 10 2 3 5 10 2 30 10 2 100 5 10 10 5 3 10 3 10 3 10 10 10 10 2 10 10 10 10 10  
口口口

62022467727359727573616022608061026474587508716577676864926162695766576057616565

※江吉溝西石小青市大  
石田間井口田鷹井川内  
ご連絡をいただきました(ご家族より9月に)  
龍洋暉 龍久日出男弘司  
(55)(55)(70)(64)(63)(61)(63)(60)(61)

2024年9月  
ご遺族の方から次の会員のご逝去のご連絡がありました。同窓会発展のために、ご尽力ありがとうございました。

【訃報】  
謹んで冥福をお祈りいたします

山大小花恵和角野日関関斎利村川兀  
田島沢澤良栗田川野口谷藤田田南脇

暁良郁一 主作博甲和洋紀卓順  
渚弘民三文雄勇昭美満夫弘二敏也吉

20 5 10 10 5 3 2 3 3 3 5 10 10 10 1 5  
口口口口口口口口口口口口口口口口口口

83756371675564757281535961661775

### 事務局からのお知らせ

皆さまよい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は、温かいご寄付、同窓会活動へのご協力等、大変お世話になりました。この会報をお届けできましたのも、暮れのお忙しい時期に会報発送作業のお手伝いをいただいた方々のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。本年もよろしくご協力のほどお願い申し上げます。

- ・10月24日(木) インターンシップ実習報告会聴講
- ・11月16日(土) 第3回代表・常任合同幹事会
- ・12月7日(土) 忘年の集い
- ・12月14日(土) 学生プレゼンテーション大会
- ・12月20日(金) 同窓会報発送作業
- ・1月11日(土) 浅草七福神巡り予定(2025年)  
(事務局長 高森 正雄)

#### 最近の活動

- ・8月23日(金) 同窓会報発送作業
- ・9月21日(土) 第2回代表・常任合同幹事会
- ・10月9日(水) 教授会執行部との懇談会

#### 【訂正】

92号「経済学部／教育・研究体制」のお名前に間違いがありました。お詫びして訂正いたします。

友松 夕夏 ⇒ 友松 夕香先生